

# 地域づくりにおける合意形成技術

～まちの安心・安全マップとVRモデリング～

1. ファシリテーション
2. マップづくりの意義
3. マップづくりの手順
4. VR-Studioへの展開



NPO地域づくり工房 傘木宏夫

環境アセスメント学会理事、長野大学非常勤講師

## ファシリテーション

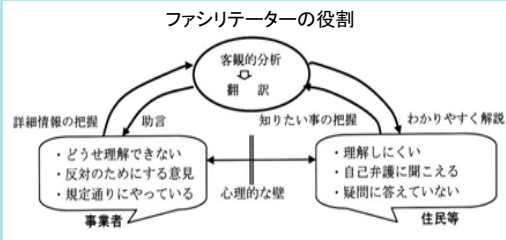
### 3つの段階

- ①対話を容易にする
- ②理解を容易にする
- ③解決を容易にする

### 必要とされる場面と立場

- ①翻訳者として
- ②弁護者として
- ③仲介者として

地域開発の計画&設計にたずさわる行政職や技術者は、自分たちの表現方法(専門用語や図面)でごまかしてしまう傾向があります。



傘木宏夫「地域づくりにおける合意形成技術 ～まちの安全・安心マップとVRモデリング～」

## マップづくりの意義

### 1. 地域を知る

◇ふだん見えない情報を掘り起こす

### 2. 相互理解をすすめる

◇見方、感じ方の違いを知ること

### 3. 潜在的な情報の可視化

◇地図におとすことで見えてくる情報



地域づくりをすすめる仲間づくり

傘木宏夫「地域づくりにおける合意形成技術 ～まちの安全・安心マップとVRモデリング～」

## マップづくりの手順①

目的が「仲間づくり」であれば、主催者や参加者の設定が大切です。

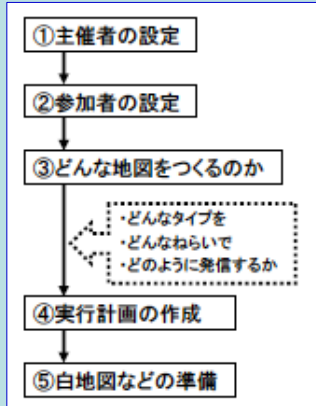
どんなマップをつくるかで、準備やまとめ方に違いが出てきます。

手づくりマップでは、模造紙などで作った方が、情報を共有しやすくなります。

デジタル化を意図する場合は、スキャンサイズや記号を考慮しておきます。

目的に応じて関連する資料を集めます。

- 例: ハザードマップ、災害時想定マップ  
福祉マップ、公共施設マップ  
都市計画図、公園緑地配置図など



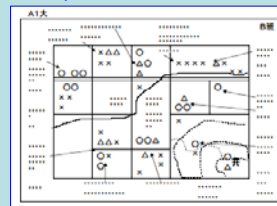
傘木宏夫「地域づくりにおける合意形成技術 ～まちの安全・安心マップとVRモデリング～」

## マップづくりの手順②



A3手持ち用白地図

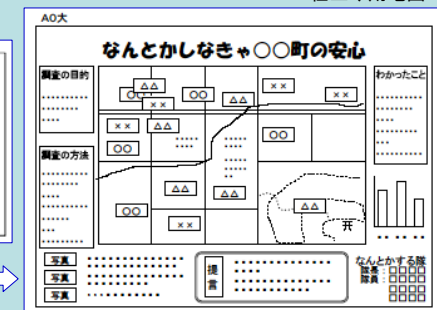
A1集約用地図



手づくりマップの一例です。

地域で拾ってきた地域の感性的情報をひとつにまとめていくことで、客観的な情報になり、相互理解をすすめていきます。

A0仕上げ用地図



傘木宏夫「地域づくりにおける合意形成技術 ～まちの安全・安心マップとVRモデリング～」

## VR-Studioへの展開

### ケーススタディ

- ① 既存資料の収集
- ② タウン・ウォッチング
- ③ 手づくりマップの作成
- ④ VR-Studio化への絞込み

VR化するには、議論の焦点を絞り込んでいかないと、経費や時間がかかってしまいます。相互理解を図るうえでも、手づくり作業が伴う方が効果的と考えます。



ハザードマップを入手



まち歩きで記録



情報を記号化してまとめる

傘木宏夫「地域づくりにおける合意形成技術 ～まちの安全・安心マップとVRモデリング～」

## ファシリテーションのご参考に

ご清聴ありがとうございました。



自治体研究社 1,700円



自治体研究社 1,400円

マップづくりやワークショップの具体的な手法を紹介。

傘木宏夫「地域づくりにおける合意形成技術 ～まちの安全・安心マップとVRモデリング～」